

ヤクシカの生息状況について

環境省屋久島自然保護官事務所

1. 生息状況（全島）

（1）糞粒法による個体数、生息密度の推定

- ・平成 21 年度、24 年度及び 25 年度に糞粒法による生息状況調査が行われ、個体数、生息密度の推定が行われている。

表 河川界区分ごとの推定生息数と生息密度（H25 年度推定結果（環境省））

河川界	推定生息数(頭)			推定生息密度(頭/km ²)		
	H21	H24	H25	H21	H24	H25
河川界1	1,964	2,289	5,673	29.0	33.8	83.9
		117%	248%			
河川界2	1,293	836	1,911	24.1	15.6	35.6
		65%	229%			
河川界3	1,323	614	1,874	33.9	15.7	48.0
		46%	305%			
河川界4	583	780	1,061	14.3	19.2	26.1
		134%	136%			
河川界5	1,005	2,417	2,366	27.1	65.1	63.7
		240%	98%			
河川界6	719	1,401	1,489	32.0	62.3	66.2
		195%	106%			
河川界7	1,577	1,351	2,467	48.2	41.3	75.4
		86%	183%			
河川界8	3,327	3,631	5,719	65.0	71.0	111.8
		109%	158%			
河川界9	2,686	3,759	6,316	32.0	44.8	75.3
		140%	168%			
河川界10	1,537	1,598	2,773	39.7	41.2	71.6
		104%	174%			
合計	16,014	18,687	31,665	34.3	40.0	67.8
		117%	169%			

図 河川界区分ごとの推定生息数の推移

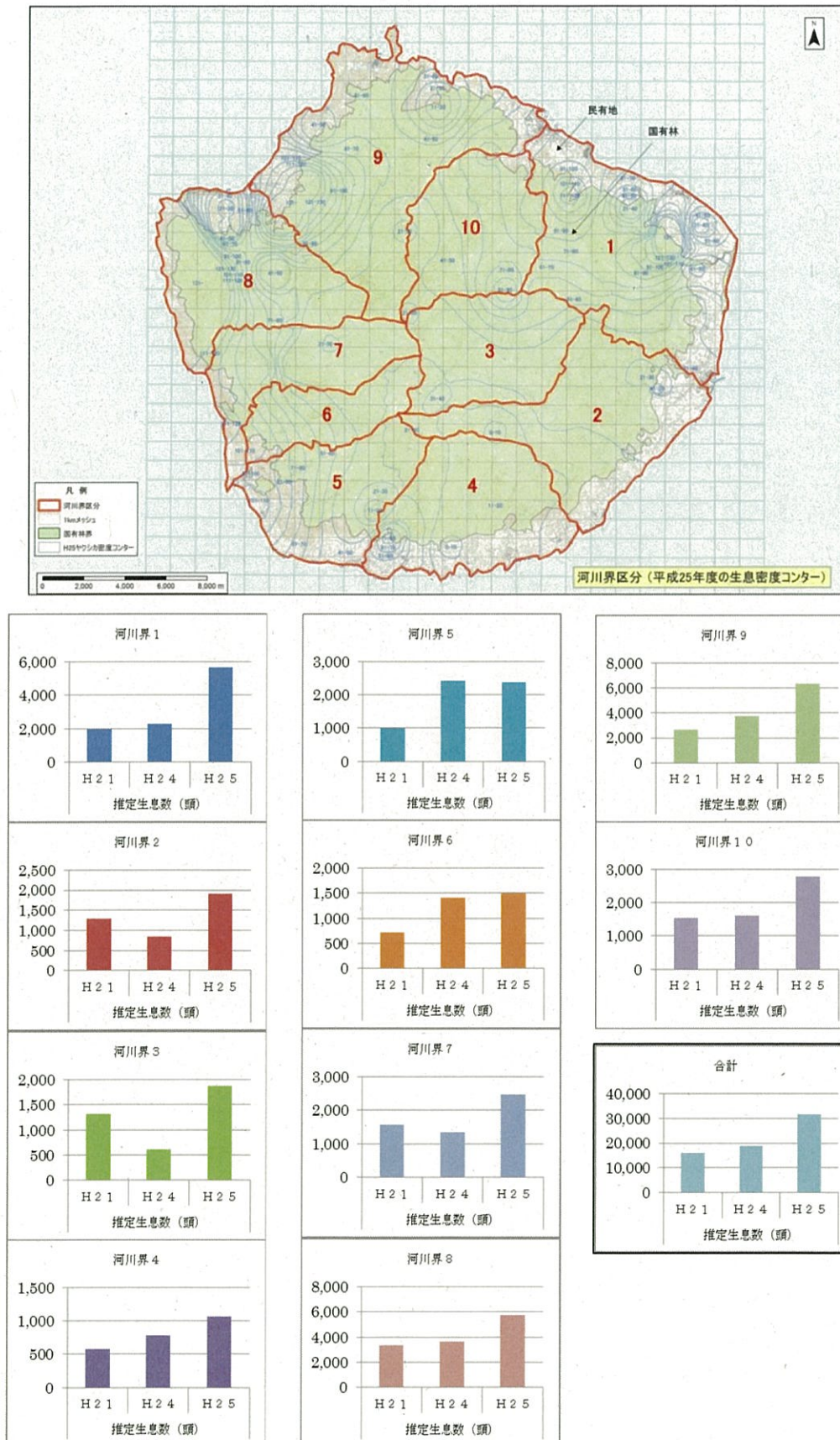


図 河川界区分ごとの推定生息密度の推移

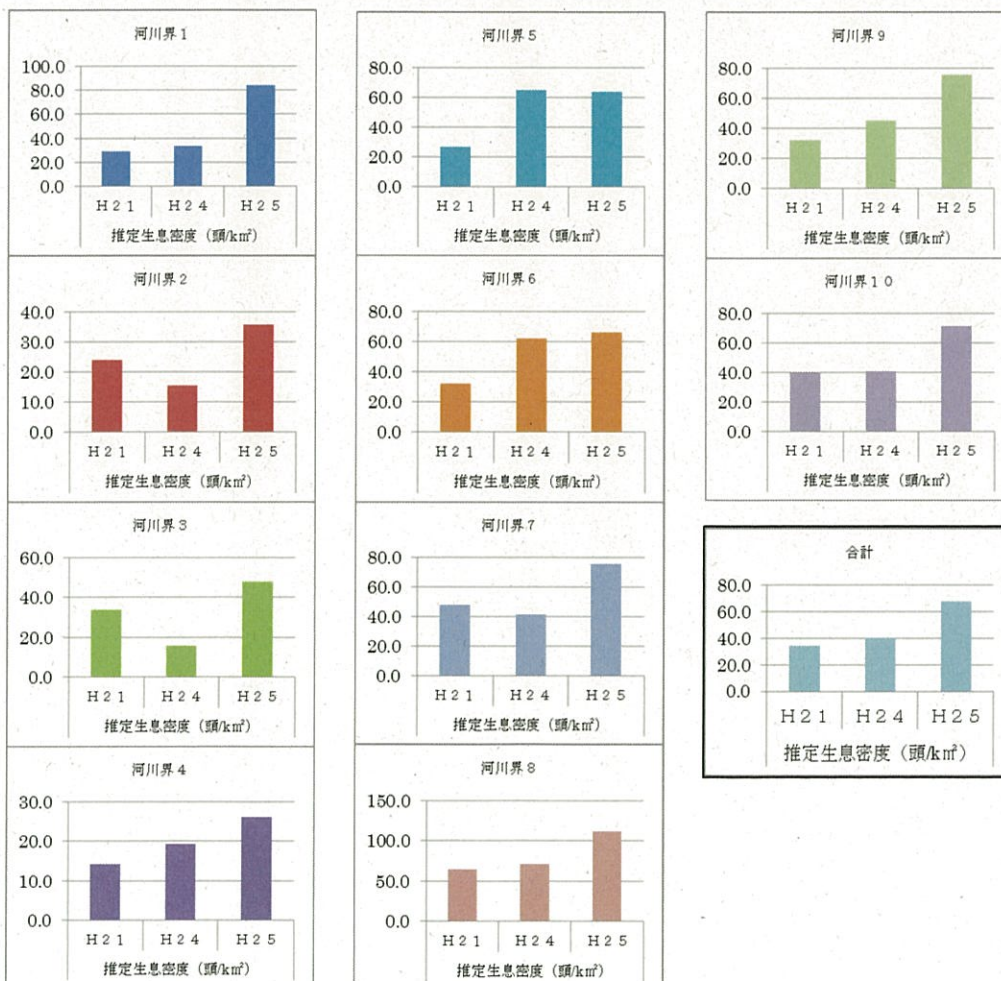
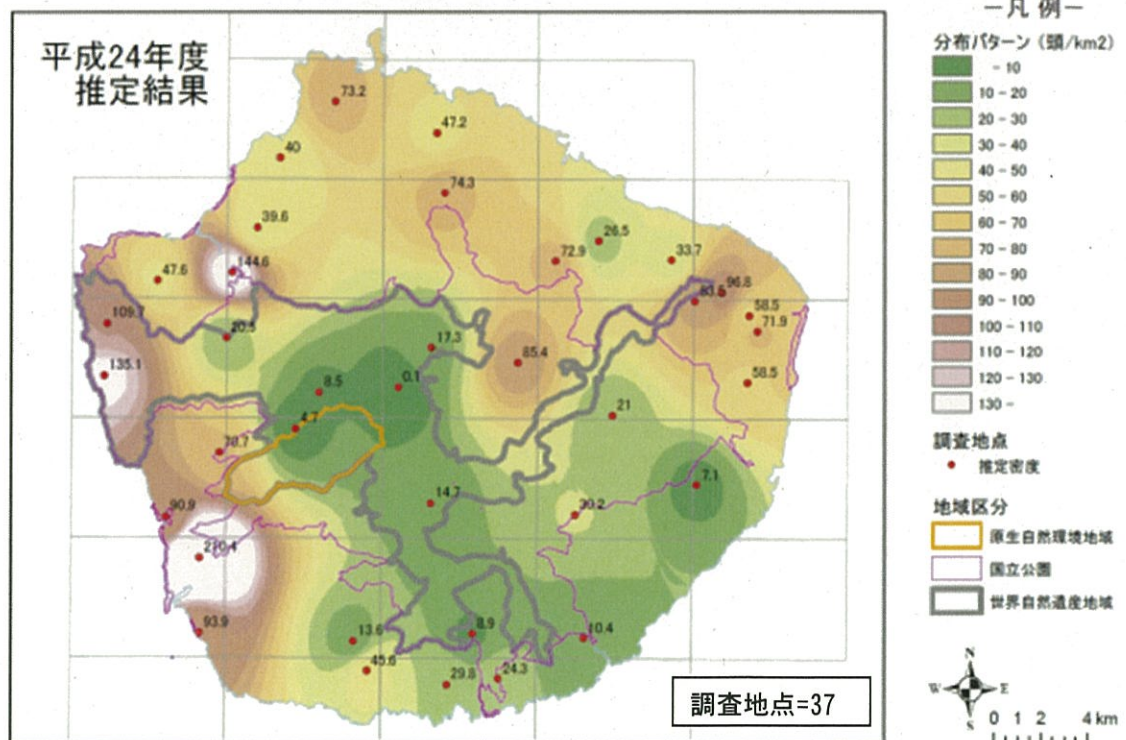
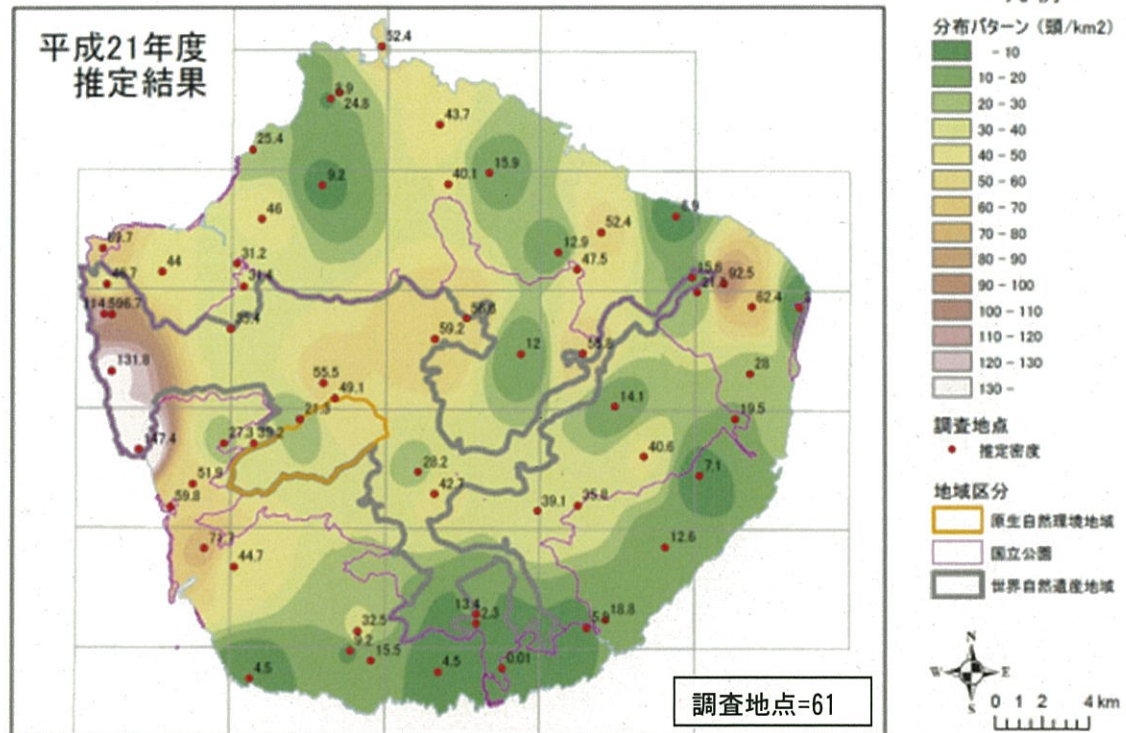
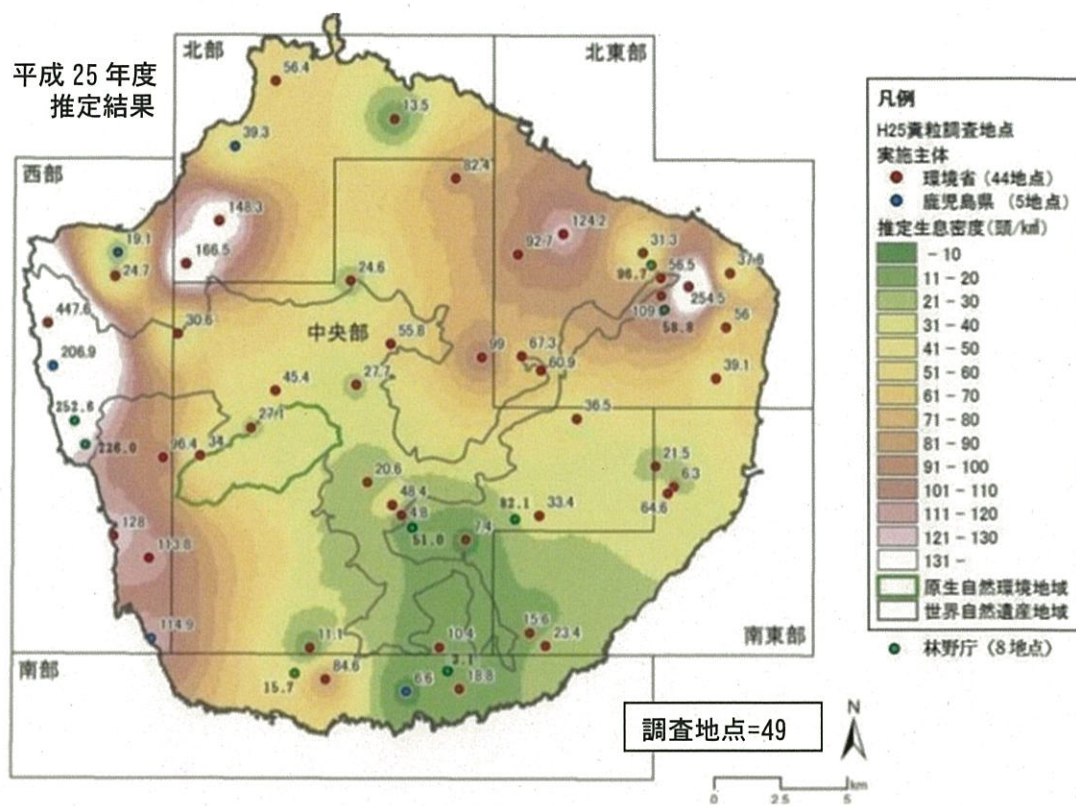


図 ヤクシカ生息密度コンターの推移 (H25 年度生息密度推定結果 (環境省))

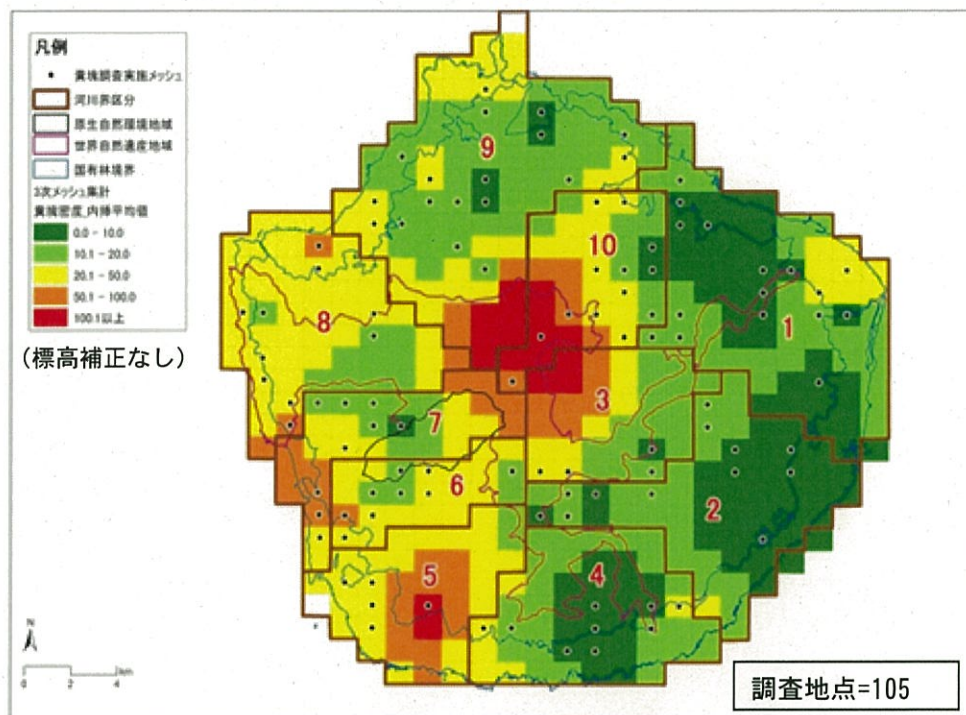




(2) 糞塊法による糞塊密度分布の推定

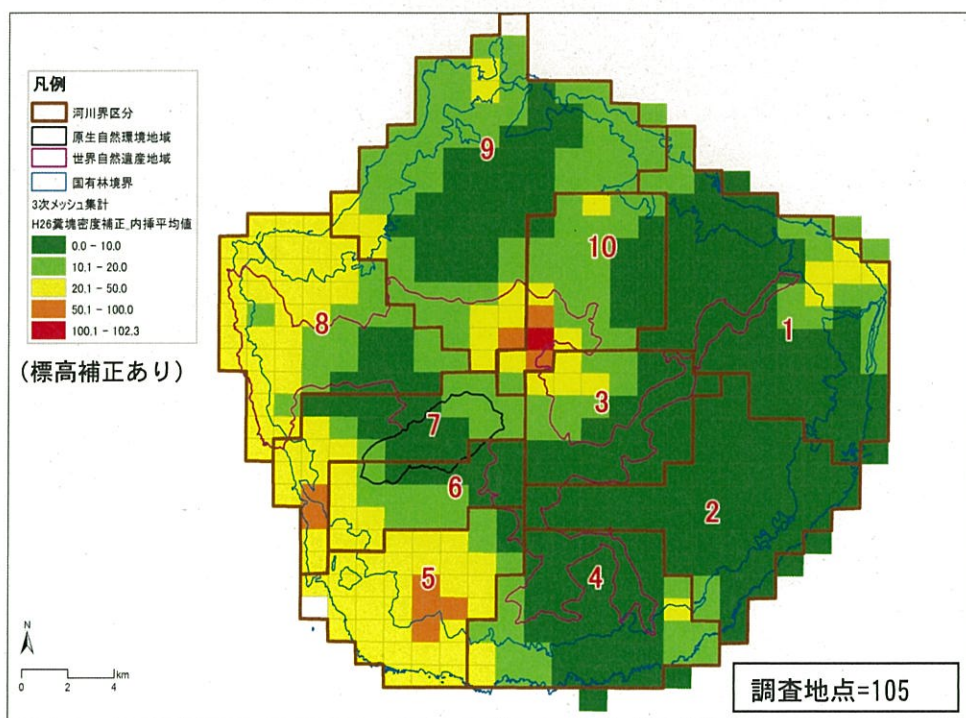
- ・また、平成 26 年度に糞塊法による生息状況調査を行われ、全島の糞塊密度分布の推定を行った。

図 内挿法による糞塊密度分布 (H26 年度糞塊密度推定結果 (環境省))



- ・さらに、この結果に標高による糞の消失速度の違いを加味して補正を行い、全島の糞塊密度分布の再推定を行った。

図 内挿法による糞塊密度分布 (H27 年度糞塊密度推定結果 (環境省))



2. 生息状況（東部、西部、奥岳）

（1）東部

- ・平成23年度に生息状況調査（糞粒法、7地点）が行われ、生息密度の推定が行われている。

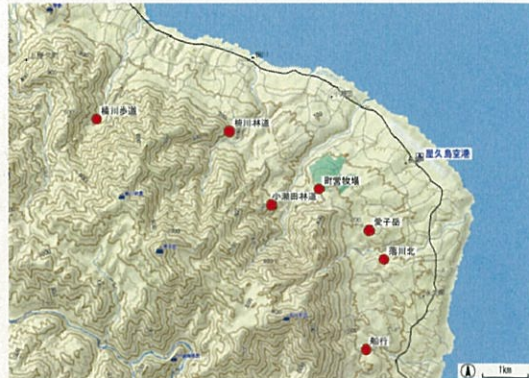


表 屋久島東部地域における糞粒法によるヤクシカ密度推定結果（H23年度推定結果（環境省））

調査地点	糞粒数	標高(m)	傾斜(°)	推定密度(頭/km ²)	過年度調査時 推定密度(頭/km ²)
愛子岳	233	176	5	37.0	62.4(H20)
船行	207	177	5	32.9	28.0(H20)
町営牧場	432	191	5	67.5	92.5(H21)
小瀬田林道	184	219	25	30.6	21.1(H21)
楠川歩道	66	277	25	10.3	52.4(H21)
楠川林道	13	198	15	2.1	新規地点のためデータ無
落川北	40	147	5	6.6	新規地点のためデータ無

※被覆レベルの色分けについては長崎県シカ生息状況等調査業務(H20年3月)に従った。

	1～10頭/km ²	低密度
	11～30頭/km ²	中密度
	31～70頭/km ²	高密度
	71頭以上/km ²	超高密度

（2）西部

- ・平成13年度、14年度及び21年度に行われた生息状況調査結果を用いて、西部地域の平成13年度と平成21年度の生息個体数を推定し、約10年間の増加率を推定している。

狩猟圧を前提として年平均約40頭の捕獲圧がかかっていたと仮定して、平成13年度と平成21年度を比較すると、3次メッシュでの平均増加率は7%、95%上限値を想定した場合には13%と推定された。

表 西部地域5kmメッシュごとの推定頭数の変化

メッシュ番号	平成13年度(頭)	平成21年度(頭)
45304372	525	503
45304322	1,251	1,615
45303372	283	1,174
合計	2,060	3,293

(3) 奥岳

- ・平成23年度に生息状況調査（糞粒法、4地点）が行われ、生息密度の推定が行われ4.0頭/km²と推定されている。

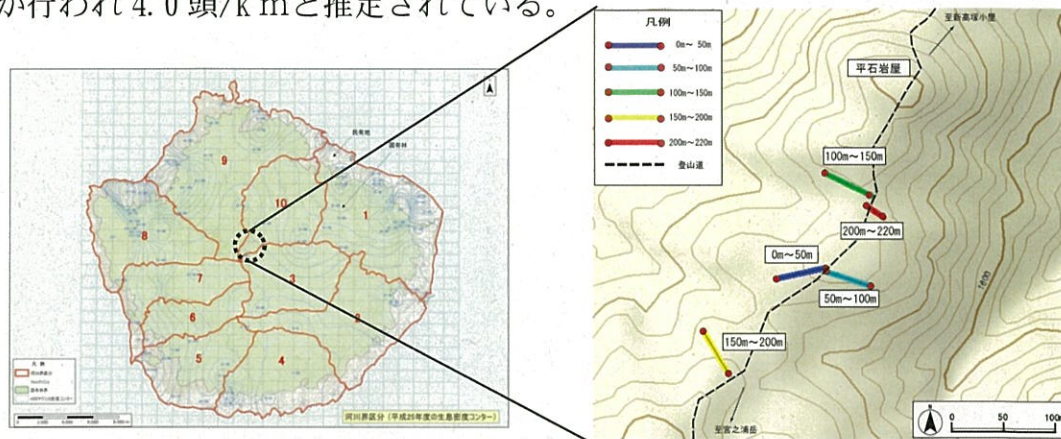


表 奥岳地域における糞粒法によるヤクシカ密度推定結果（H23年度推定結果（環境省））

調査地	糞粒数	標高(m)	傾斜(°)	推定密度(頭/km ²)	過年度調査時 推定密度(頭/km ²)
奥岳 平石	115	1678	25	4.0	no data
※滝川登山道(H20)	381	1480	-	no data	42.7
※小高塚岳(H21)	518	1473	-	no data	59.2
※電之沢小屋(H21)	396	1492	-	no data	55.6
※花山歩道(H21)	152	1330	-	no data	21.3

表の色の分けについては奥岳山ヤクシカ生息状況調査報告書(H20年3月)に従った。

※過年度の高山帯高地における参考データ

1~10頭/km ²	低密度
11~30頭/km ²	中密度
31~70頭/km ²	高密度
71頭以上/km ²	超高密度

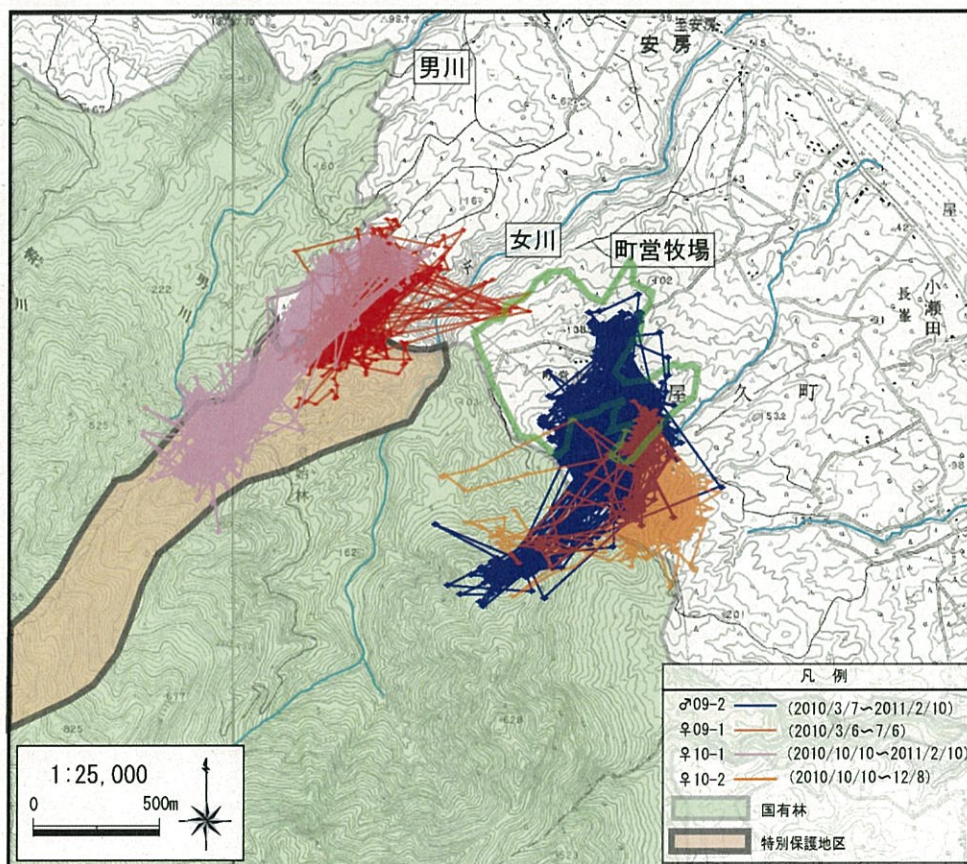
3. 行動範囲

- ・平成 21 年度及び 22 年度に、愛子岳山麓部・町営牧場周辺でオス成獣 1 頭、メス成獣 3 頭に発信器を装着して行動範囲を調査している。

表 測定された行動範囲の面積

測定方法	♂09-2	♀09-1	♀10-1	♀10-2
最小面積法 (ha)	113.5	34.4	44.9	43.7
カーネル法 95%/100% (ha)	50.0/126.8	29.7/53.6	44.7/95.5	21.5/45.8
最外郭法 (ha)	201.0	49.7	65.3	61.7

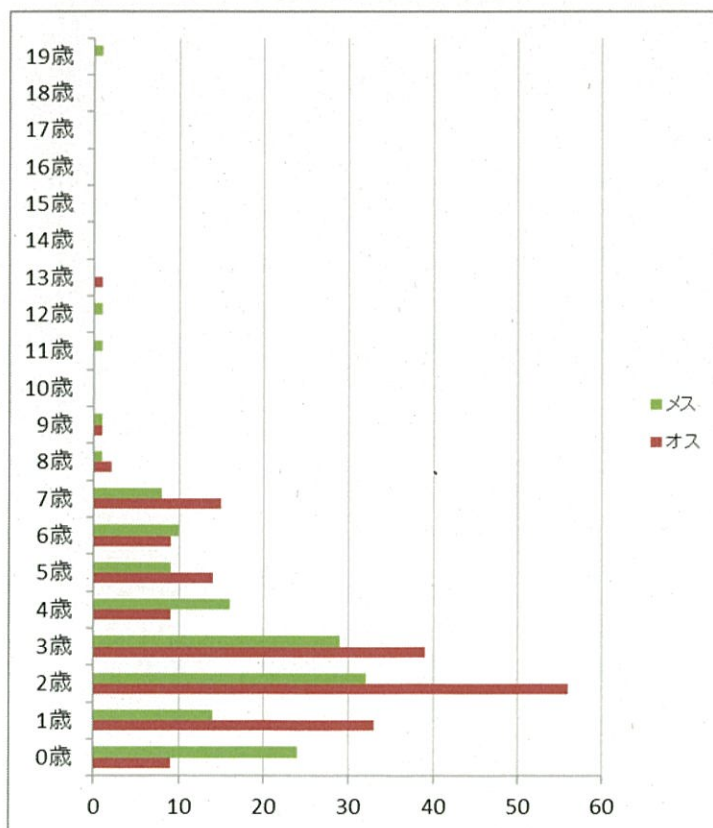
図 GPS 首輪により計測された 4 個体のヤクシカの行動範囲



4. その他

(1) 齢構成 ※H22～H24 ヲシカ WG の森林管理局及び鹿児島県資料より作成

年齢	合計	オス	メス
0歳	33	9	24
1歳	47	33	14
2歳	88	56	32
3歳	68	39	29
4歳	25	9	16
5歳	23	14	9
6歳	19	9	10
7歳	23	15	8
8歳	3	2	1
9歳	2	1	1
10歳	0	0	0
11歳	1	0	1
12歳	1	0	1
13歳	1	1	0
14歳	0	0	0
15歳	0	0	0
16歳	0	0	0
17歳	0	0	0
18歳	0	0	0
19歳	1	0	1
合計	335	188	147



(2) 捕獲頭数、被害金額 ※ヤクシカ WG の鹿児島県及び屋久島町資料より作成

表 ヤクシカ捕獲頭数の内訳と被害金額

	捕獲頭数				被害金額 (千円)
	合計	オス	メス	性比	
平成17年度					6,521
平成18年度					6,946
平成19年度					3,441
平成20年度	319	97	222	30:70	3,707
平成21年度	480	181	299	38:62	4,216
平成22年度	1948	911	1037	47:53	23,480
平成23年度	2606	1258	1348	48:52	42,022
平成24年度	4530	2157	2373	48:52	24,234
平成25年度	4526	1942	2584	43:57	4,134
平成26年度	5286	2273	3013	43:57	10,725

※捕獲頭数は、有害捕獲、狩猟、及び森林管理局による捕獲の合計

図 ヤクシカ捕獲頭数と被害金額

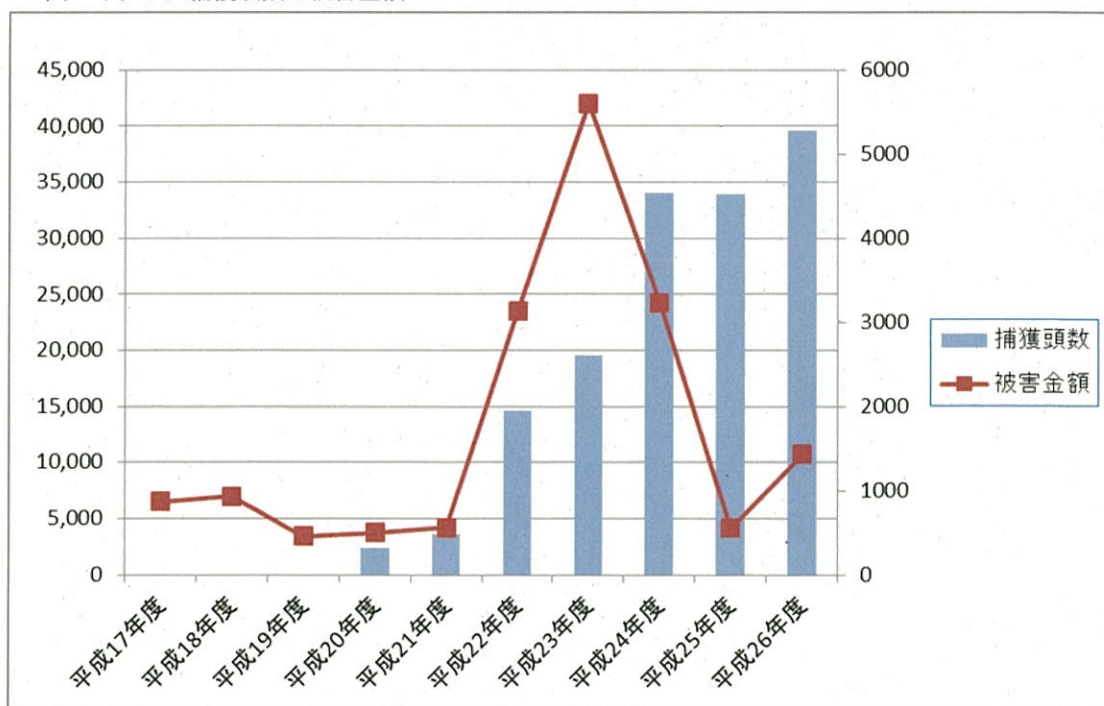


図 平成 24 年度のわな・銃猟による捕獲場所 (1km メッシュ単位)

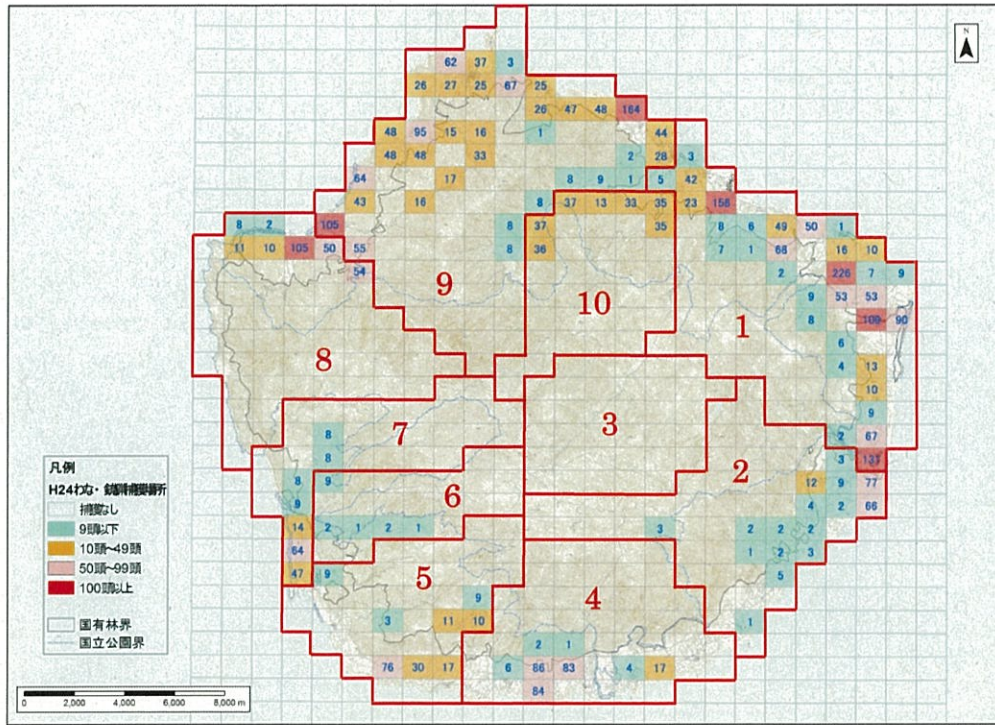


図 平成 25 年度のわな・銃猟による捕獲場所 (1km メッシュ単位)

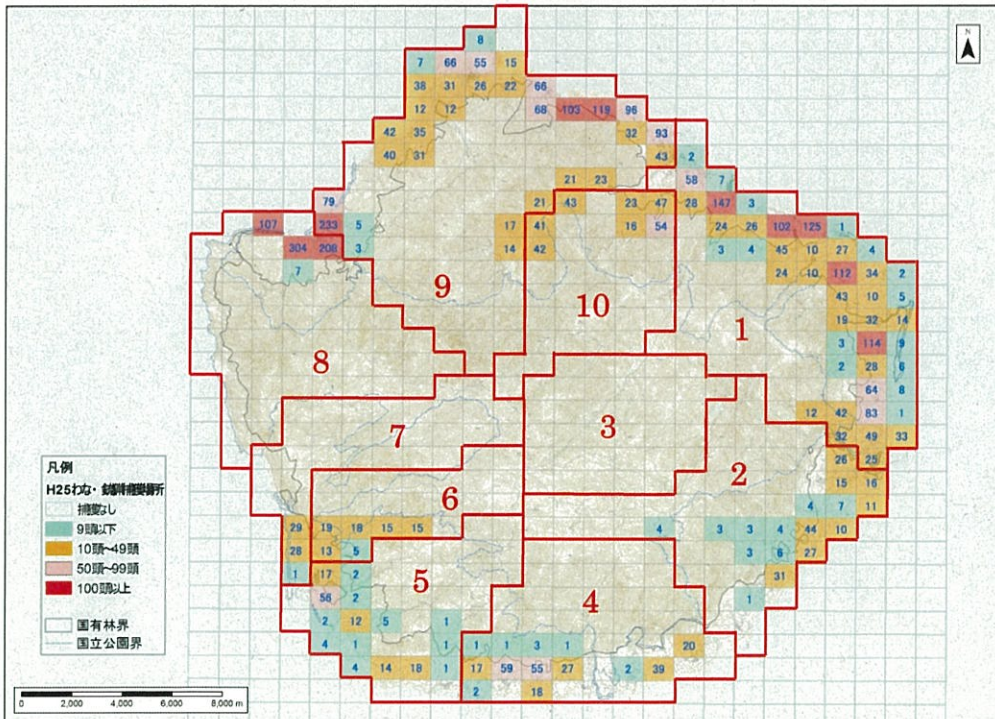


図 平成 26 年度のわな・銃猟による捕獲場所（1km メッシュ単位）

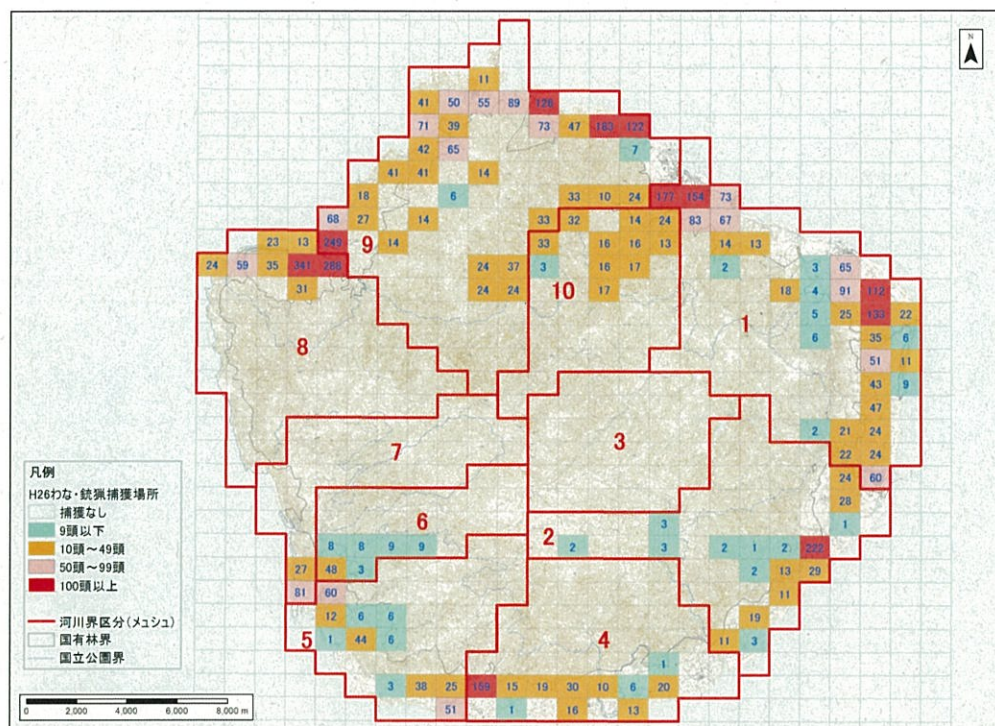


表 河川界区分ごとの捕獲数の推移

